

## サイバーサイエンスセンターとドイツ気象庁が 高性能計算に関する協定を締結

平成 21 年 6 月 23 日 (火)、ドイツハンブルグにおいて、サイバーサイエンスセンターとドイツ気象庁における研究協定締結の調印式が行われました。協定の締結は、本センターの小林広明センター長とドイツ気象庁ヴォルフガング・クッシュェ長官との間で調印されました。

この協定は、これまで築いてきた高性能計算に関する協力関係をより一層強化発展させるために締結され、具体的には次の事項について連携・協力を推進していきます。

1. 最新の高性能計算機の調達、および運用
2. 高性能計算の為にデータベース、および大型ストレージシステムの運用・開発
3. 高並列計算システムの為にプログラミング技術の開発
4. 将来のペタ、エクサフロップを実現する高性能計算システムのアーキテクチャに関する調査
5. システムを運用するために必要な基盤構築

ドイツ気象庁(DWD)は、ドイツ共和国連邦交通・建設・都市開発省に属し、最新のベクトル型スーパーコンピュータ SX-9(45.8Tflop/s)を駆使して、ドイツおよびその近隣諸国に対して気象予測および災害警報等のサービスを行っております。DWD のサービスは、安全な道路交通システムや航空システムの維持に不可欠であり、安全・安心な一般社会生活を実現する重要な役割を果たしています。さらに、高精細で複雑な物理現象を解明する新しい気象予測モデルの研究開発等にも取り組み、気象分野における最先端の研究機関でもあります。

